

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

### 「ありがとう」は成功を勝ち取るプラスの言霊エネルギー！

右掲は、「明元素言葉」と呼ばれる物です。もう30数年前になります。サラリーマン時代、システムのお客様がトヨタ方式の改善指導するコンサル会社を導入された時に壁に貼り出された物です。この言葉は他の製造業関連の会社で貼っておられたのを覚えています。

さて、自分の口癖って、案外、気づかないものですね。息子に聞くと「主語がない」という事だそうです。いきなり「あれして、これして」という突然性もあるようです。そう言えば、自分が分かっている心算なので、よく説明もしないと反省しますし、話が意味もなく長いのが嫌いです。自分勝手と言えば、それまでかも知れません。よく経営コンサルタントという難しい仕事を23年も続けられたと自分でも反省しています。

しかし、私の傾向は「プラス志向」に間違いないと思っています。確かに、精神的なダメージを受けた時には落ち込みますが、すぐにその原因をつかみ、それをバネにして反転攻勢に出る傾向があります。よく、陰気な事を平気で人に言って同情を得ようとする方がおられますが、サラリーマンでも感心しないと思います。そんな方の特徴は「人の所為」にしている事です。会社が悪いとか〇〇がどうかと言われるのですが、例えそれが正しい事であっても「自分が何をするか」という事が大切なのです。確かに、組織におられると自分一人の力は大きなものでなく、少々ネガティブに行動していても組織のパワーで救われているだけなのです。ホンマに「自分が何を出来るかを考えよ」というケネディさんの言葉を思います。

今回は「言霊エネルギー」という事ですが、言葉というのはベースがその方の人格から発せられますので、非常に重要な物です。あまり良い例ではないですが、「女たらし」特に高齢者に詐欺する人たちは、相手を喜

 <p>めい げん 素 明 元 素 現状打破言葉</p>	 <p>あん びょう たん 暗 病 反 現状維持言葉</p>
<p>充実している 頑張ります 簡単だ おもしろい できる すてきだ 美だ やれる 金がある おいしい まだ若い きれいだ 努力します 利口だ 楽せだ やってみよう 楽しい 売傘だ 素晴らしい 試みる イケル 可能だ 美しい うれしい</p>	<p>忙しい 疲れた 離しい つまらない できない いやだ 困難だ グラダ 金がない ますい もう年だ 金もない どうしよう バカだ 不幸だ やりたくない おもしろくない 困った マイツタ 苦しい つかない 失敗した わからない 大変だ</p>

成功者やもろの言霊エネルギー

### 「ありがとう」は労う言葉！

ばす言葉が巧みなのです。相手の心理をつかんだ上でコロリとほれ込ますので大したものだと思いますが、その話術を通常のビジネスで活かさせよと思います。まあ、そこまで言葉巧みでなくても言行一致で相手の心をつかむ事が重要です。その上で、一日に何回「ありがとう」って言っているかという事が大切です。忙しい人ほど「ありがとう」って連発されるように思います。確かに、自分一人で仕事ができる訳がないので手伝ってくれる方や情報を提供してくれる方に「ありがとう」って感謝をこめて労うのは当たり前前と言えますが、これが出来ない方が多いのです。「当たり前」だから言わないので、結局、ダメな時にしか言葉を発しないのです。これでは、一方的で相互に心が通うことはないと思います。やはり、平素から相手のしてくれた事に感謝の気持ちを持つ事が大切だと思えます。

漢字って素晴らしいですね、「労う」と書いて「ねぎらう」と読むのです。普通に「労をねぎらう」と言っていますが、2重なんですね。それほど重要だという事と言えます。普段、労いの言葉をかけない人が、他人の失敗を見てどんな言葉をかけるかと思うとゾッとします。うまく行って当たり前と思っていると相手の失敗にキツイ対応になると思うのです。それでは、幾ら立場が上であっても尊敬の念を持って対応できないですね。

私個人の体験ですが、サラリーマン時代の故福井社長は、お忙しい中、コンピュータ室によって下さり「進みよるか」とだけ声を掛けて下さいました。この一言は大きな感謝のエネルギーを引き起こしシステム開発に励んだのを思い出します。今でも尊敬しており、困った時には「福井社長なら、どうされるか」と自問自答する時もあります。立場や関係性で一言は変わりますが、声掛けをするのに変わりはありません。相手を思った言葉が大切です。心が伝わらなければ無意味です。私は、少なくとも「ありがとう」という労う言葉を数多く発したいと思っています。

### ワンポイント・アドバイス

独立した頃、名古屋でセミナーする際、電車代を浮かす為に近鉄特急で行った事がありました。2時間ばかりの間に、携帯電話が頻りに鳴る方がおられて、結構大きな声で会話されていたので、はた迷惑な方だったのですが、この方が「ありがとう、ありがとう」

て、一つの電話で何回も言っておられ、勉強になった事を思い出しました。やっぱり、「ありがとう」ですね。

